

元気に百歳を迎える

櫻田喜一郎さん(東根田)

櫻田喜一郎さんの百歳を祝おうと12月8日、市高齢者支援課長と県北秋田地域振興局長が自宅を訪れ、記念品を贈り長寿を祝いました。喜一郎さんは、明治38年12月1日生まれ、農業を営み、子ども4人を育てました。現在は、妻子タ子さん(93歳)と、秋田市在住の三女・キヨ子さんのところで暮らしています。土日は、同じく秋田市在住の長男・金作さんの車で実家に戻って過ごしています。

喜一郎さんの楽しみは、晩酌。百歳を迎えた現在でも毎晩1〜2合を飲むそうです。今回、百歳を迎えられた喜一郎さんは、北秋田市で6番目、男性では2番目の長寿です。



満100歳おめでとうございます

秋田内陸線直売所を開設

「ご乗車感謝セール開催

秋田内陸縦貫鉄道(株)が阿仁合駅前にあるJAあきた北央倉庫を購入し、改装をして直売所を開設(本格的な営業は18年度から)。12月10・11日には内陸線の「ご乗車感謝セール」が開催されました。

民謡ショーなどのイベントが行われたほか、地元の農家のみなさんが作った新鮮な野菜やワラビなどの山菜、餅の加工品などがとろせましと並べられ、地域の人たちや内陸線を利用して買い物に来た人たちが賑わいました。内陸線の無料乗車券が当たる「ご乗車大抽選会」も行われ、乗車券を当てた女性は「この雪降りに内陸線に乗って来て良かった。これからも利用します」と話してくれました。



沿線地域の農林産物や加工品などを販売する阿仁合駅前の直売所(本格的な営業は18年度から)



毎年11月上旬から正月用しめ飾り作りに専念する戸沢さん

材料に古代米を使った「しめ飾り」

戸沢茂男さん(前山)が作る縁起物

古代米の稲穂やわらを利用した正月用のしめ飾りが『古代が蘇った縁起物』として人気を呼んでいます。

このしめ飾りを作っているのは戸沢茂男さん(前山・83歳)で、材料の古代米は減反した水田などに6年前から3種類を作付けし、妻のアサさんと全ての作業を古代からの方法で行っています。

しめ飾りは稲穂のついたわらで縄をない、これに獅子頭、招き人形、松ぼっくり、交通安全、謹賀新年などの飾りを付け、丹精込めて仕上げられています。首都圏や関西方面からも予約が入り、全ての注文に応じきれないほど好評を博しています。

心豊かに人生を楽しく

「あに地域福祉のつどい」開催



健康の大切さに認識を新たにした福祉のつどい

阿仁福祉センター主催による「あに地域福祉のつどい」が12月8日、阿仁公民館を会場に「地域に住む人々が、生きがいと思いやりを持ち心豊かに人生を楽しく過ごしていくこと」などを願い、開催されました。

市社会福祉協議会の高坂祐司会長が「福祉に国境は無い。4町の社会福祉協議会が1つになった。公平・公正な社会福祉活動をして行きたい」とあいさつ。続いて県社会福祉協議会会長佐々木満氏による記念講演が行われ、『高齢化社会を楽しむ』と題し「笑顔で問題解決に向かって行くことが大切、これからは高齢者中心の社会に変化して行かなければならない」と話し、参加者に訴えました。

早く治ってと願いを込め熱演

米内沢総合病院クリスマスコンサート

公立米内沢総合病院1階待合ホールで12月19日に恒例のクリスマスコンサート(第35回病院音楽会)が開催されました。

病院職員と同OBによる大正琴演奏や福祉ホーム「もろび」の入所者とデイケアセンターの通所者による踊りが披露されたほか、浜辺の歌音楽館少年少女合唱団&MMCによるクリスマスソングの合唱がホールに響き、約100人の鑑賞者を魅了しました。

サンタクロースから入院されている方へ励ましのメッセージカードが手渡され、最後に全員で「きよしこの夜」を合唱しました。鑑賞者に笑顔が溢れ、今回のコンサートが心のビタミン剤となったようです。



入院によってストレスを受けている患者さんの気持ちが癒されればと始められ、35回を数える音楽会

広がる暖かい善意

ボーイスカウト秋田連盟第51回の募金活動

12月はさまざまな組織・団体が参加して「歳末すけあい運動」が展開されました。

その中で、ボーイスカウト秋田連盟第51団(間杉政明委員長)は12月22日、よないざわショッピングモール・ラポールで福祉活動に役立ててもらおうと大きな声で「歳末すけあい募金にご協力を」と呼びかけました。班長の森川岳さん(森吉中2年)は「毎年、募金活動をしています。人間は助け合いが必要なのでこれからもがんばります」と重くなった募金箱を大事そうに抱えています。

ボーイスカウト秋田連盟では団員を募集していますので、申し込み・問い合わせは間杉政明(☎76-21107)へご連絡ください。



「寒いのがんばってね」と皆さんからご協力いただき「ありがとうございました」と応える団員たち